

科目名	日本文学史（中世）					単位	2.0
担当教員	秋間 康夫						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2415

●授業のテーマ

鎌倉時代・室町時代の日本文学

●到達目標

鎌倉時代と室町時代の日本文学について、時代背景や生活習慣なども理解しつつ、その代表的作品を把握する。

●学習内容(授業概要)

鎌倉時代における日本文学は、新古今集を筆頭とする和歌文学、軍記物語としての平家物語、随筆文学の方丈記・徒然草が中心である。そして室町時代には和歌文学とその流れとしての連歌、軍記物語としての太平記、また、風姿花伝などの作品が登場したのである。本講義においては、中世という時代背景とともに、中世の日本文学を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. 鎌倉時代について
2. 和歌文学（1）－勅撰集－
3. 和歌文学（2）－私家集－
4. 和歌文学（3）－歌合・歌会－
5. 軍記物語について
6. 平家物語（1）－成立－
7. 平家物語（2）－構成・内容－
8. 方丈記
9. 徒然草（1）－成立・構成－
10. 徒然草（2）－作者－
11. 室町時代について
12. 和歌文学・連歌
13. 風姿花伝
14. 太平記（1）－成立－
15. 太平記（2）－構成・内容－

●準備学習・事後学習の内容

予め、授業ごとのテーマを知り、テーマの内容を調べる。授業後は授業内容をまとめて書き記しておく。

●成績評価方法・基準

試験8割・平常点2割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『作品中心 日本文学史』、著者名：山岸徳平編、出版社：新典社、販売先：生協

●参考文献／その他

授業時に指示。

●履修上の注意

特になし。

